

2024年10月21日

完成車両メーカーが開発した、間伐材配合の樹脂材料「TABWD®」を出展

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市、代表取締役・社長：松尾勝博）は、10月29日～10月31日、幕張メッセで開催されるサステナブルマテリアル展に、間伐材を配合した樹脂材料「TABWD®」製品を出展します。材料展にTABWD®を出展するのは今回が初めてです。

【主な出展物】



バッテリーキャリア



株式会社オカムラ様のオフィスチェア

当社では地球環境保全に貢献できる製品開発とモノづくり技術革新に取り組んでいます。その一環として、2009年からTABWD®の開発に着手。2012年、剛性や耐熱性が認められ、自動車部品として初めて採用されました。

近年では、環境にやさしい素材であることに加え、独特な風合いを活かして、株式会社オカムラ様のオフィスチェア、環境調和型ブランドのテーブルウェアなどに採用されています。またこのほど、全国で活用されている当社の超小型BEV「COMS」の外板部品のリメイクに、地元の間伐材を配合したTABWD®が使用されるなど用途が広がっています。

【その他の主な活用事例】



PLANT COM もくまる
当社の超小型 BEV「COMS」のボデー・
内装などに TABWD®を用いたコンセプトカー



スツール（3Dプリント）
製造販売先：株式会社前田技研

成形用の樹脂材料。成長過程で吸収した二酸化炭素を蓄えたスギの間伐材を配合することでカーボンニュートラルに貢献します。加工しやすく、独特な風合いが特長で、繰り返し使用することが可能なため、サーキュラーエコノミーの実現にも役立ちます。

森と製品、2つの循環をつなぐ

健やかな森を育てる循環と素材を繰り返し使う循環の2つを繋ぎ、CO₂の排出削減・材料廃棄削減に貢献する材料です



TABWD®ホームページ <https://www.toyota-body.co.jp/auto/tabwd/>

2. 出展場所 ブースNo. : 41-43